

安全で安心して暮らせる社会の構築のための 建築研究開発の役割

- パネルディスカッション -

はじめに

頻発する大地震、台風、大規模火災、加えて、侵入盗の増加など防災・防犯面からの社会の安全・安心に対する関心の高まりの中、これらの課題に対する建築研究開発の役割は高まっている。

このパネルディスカッションにおいては「安全で安心して暮らせる社会の構築のための建築研究開発の役割」と題して、災害や犯罪に対する安全・安心とはどういうことか、また安全で安心して暮らせる社会を目指すために建築研究開発はどのような役割を担うべきか探っていく。

話題概要

- 1) 安全・安心ということ
- 2) 安全・安心実現のための建築技術開発や建築研究開発等の役割
- 3) 建築技術開発や建築研究開発等に望むこと

まとめ

安全で安心して暮らせる社会の構築のための建築研究開発の役割

- パネルディスカッション -

< コーディネーター >

東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻 教授

青木 義次

< パネラー >

都市基盤整備公団 技術監理部設計課長

井関 和朗

株式会社損害保険ジャパン 個人商品業務部個人火災グループリーダー

清水 芳人

A L S O K 総合警備保障株式会社 開発技術部ITソリューション室長

中村 雅一

独立行政法人建築研究所 研究総括監

坊垣 和明

(敬称略)